

117期通信

北海道小樽潮陵高等学校2学年通信
令和4年1月25日(火)発行 第16号
潮陵2学年団

☆大学入学共通テスト

1/15,16 に実施された大学入学共通テストの問題を見ると、出題傾向は昨年から大きな変化はなく、大学入試センターが示している「思考力、判断力、表現力」を問うような問題が多かった印象を受けます。5教科7科目(900点満点)総合での平均点は、理系で523点前後(昨年は572点)、文系で518点前後(昨年は552点)と予想されており、センター試験時を含めて過去最低になると言われています。この数字が物語っているように今年の大学入学共通テストは潮陵生に限らず多くの受験生が苦戦したようです(特に数学は超難化)。大学を受験する3年生は今まさに、共通テストの自己採点の点数をもとにどこの大学に出願するかを検討しています。今後は講習の受講など、2/25 実施の2次試験に向けてラストスパートをかけます。1つ下のフロアに人生をかけて日々勝負をしている先輩方がいることを忘れてはいけません。

さて、君たちも1年後に迫った大学入学共通テストに向けそろそろ本格的に準備しなければなりません。出題の形式は、2年前まで実施していたセンター試験から変わっていますが、学ぶべきことは、教科書に載っている基本的な知識の習得や解法、公式の使い方など、変わっていません。しかし、共通テストはもちろん様々な場面でそれらを活用するためには、公式や解法について、単に暗記をしていることで同じパターンであれば解けるということではなく、なぜそうなるのかという“本質”的な理解が必要です。本質的な理解があれば、いろいろな状況で使える知識・技能が身につきます。また、共通テストで出題される問題の場面設定は、日常的な場面や学習の場の設定が多いので、試験問題の中だけでなく部活動など普段の生活の場面でメモをとりながら整理したり、要約したり、意見をまとめたりすることを心掛けてみてください。さらに、授業を受ける際には、“聴き覚える”という受け身ではなく、積極的に参加する意識で臨むことで、思考力を伸ばしてください。1年が経つのは本当に早いです。今から準備を始めませんか。

<1・2月の予定>

- 1/29(土) 第2回高2公務員模試
- 1/31(月) 7校時：学年集会
- 2/ 1(火) D E F組スキー授業
3年生家庭学習期間(~2/27)
- 2/ 2(水) 7校時：進路別セミナー①
- 2/ 3(木) A B C組スキー授業
- 2/ 5(土) 進研高2共通テスト模試
- 2/ 9(水) 7校時：探究学習①
放課後：医進類型課外講座
- 2/14(月) 7校時：探究学習②
- 2/15(火) D E F組スキー授業
考查1週間前
- 2/22(火) 後期期末考查(~2/28)

大雪に見舞われた1月

1月は雪かきをしない日がないくらい毎日のように雪が降っています。公道の除排雪が追いついていない地域が多く、朝と夕方のラッシュ時の幹線道路は常に渋滞しており、潮陵坂も車1台通るのがやっとの印象です(皆さん車には気をつけて!)。本当にもう嫌になっちゃいますよね。

しかし、先日とあるメディアで除排雪に関わり以下のような報道がありました。“1998年に約1万8000台あった道内のダンプカーの数が高齢化などにより2019年には約1万3800まで減少している。ダンプカー不足により150mの除雪を仕上げるのに今までより1時間以上かかる”との内容でした。今年は例年より雪が多い上に、高齢化により作業に携わる方々の数も少なくなっているそうです。当然これからも北海道の道路の数は減りません。むしろ増えていくでしょう。であるにも関わらず、除排雪に携わっている方々は年々減っていくことが予想されます。今後、北海道の冬はいったい……。

このことに限らず、今日の前に起こっている出来事の裏側には何があるのか、目に見えるものだけを注視するのではなく、目に見えていないものに関心を向けることがときには大切です。社会に目を向けること、想像力を働かせること、これらを意識しながらお互い生活していきたいものですね。